

# 島根県の地震

令和5（2023）年2月

・震源要素（緯度、経度、深さ、マグニチュード）は暫定値です。後日、再調査のうえ修正されることがあります。

・本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。

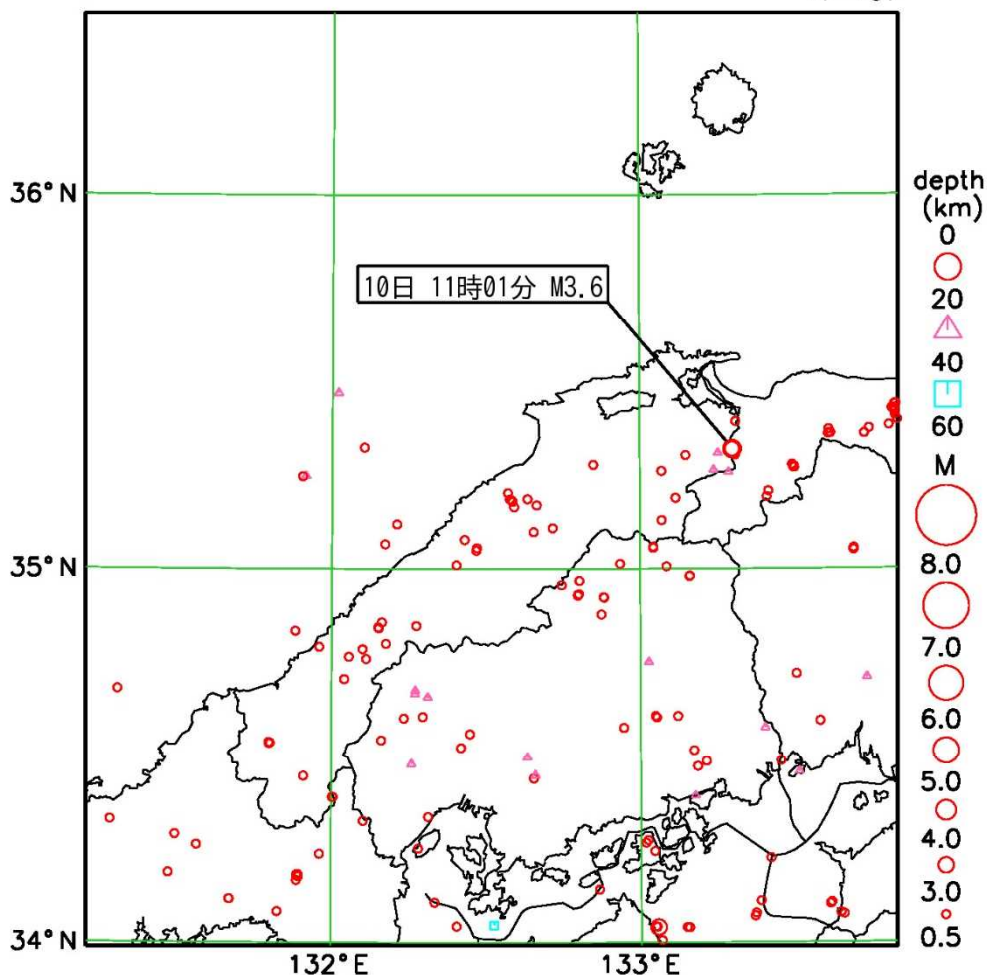
また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

松江地方気象台

## 島根県およびその周辺地域の地震活動 2023年2月1日～28日

2023 02 01 00:00 -- 2023 02 28 24:00

N=167



### [概況]

今期間、M0.5以上を観測した地震は167回（1月は153回）でした。

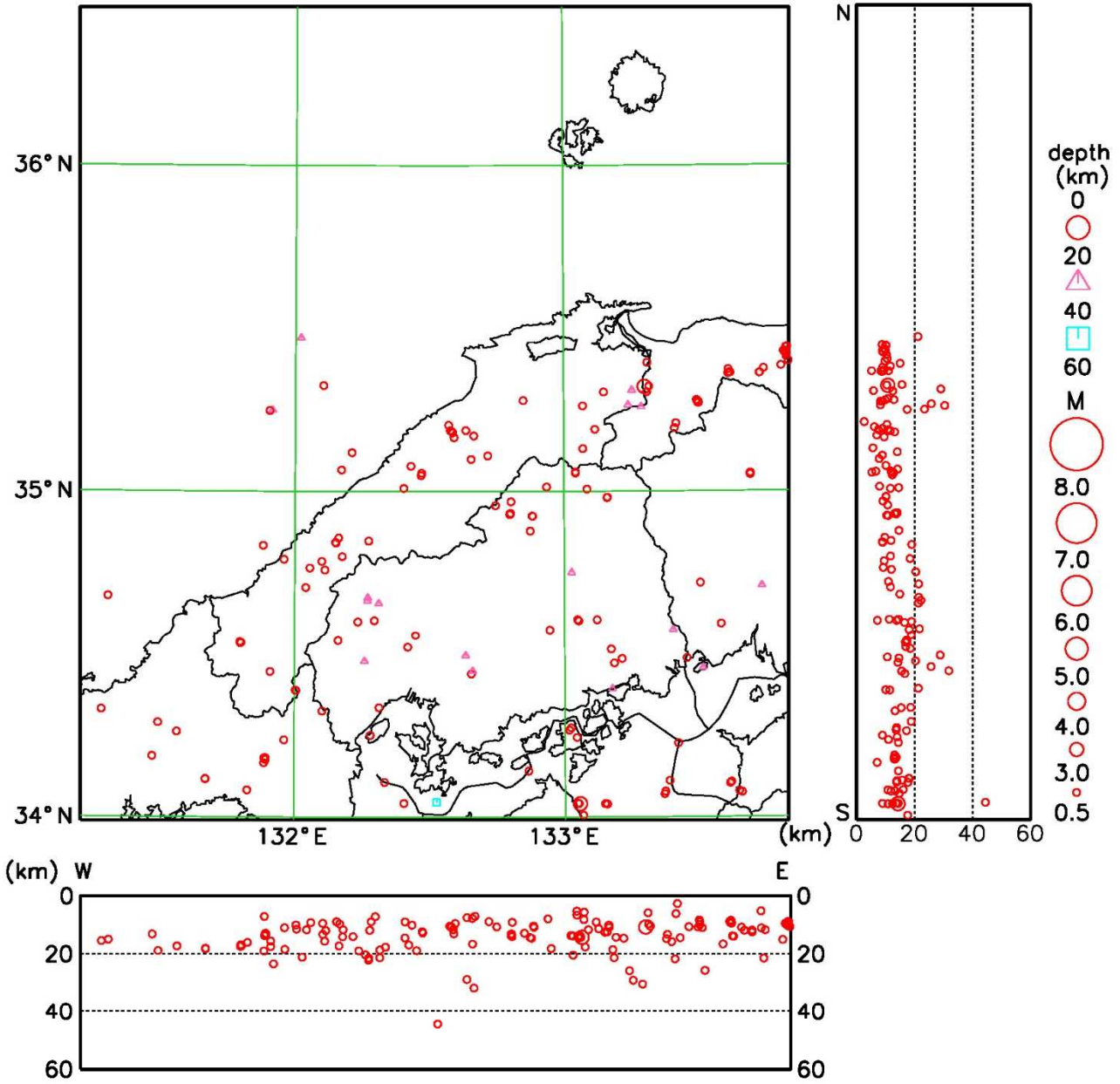
また、島根県内で震度1以上を観測した地震は、2回でした。

10日11時01分 鳥取県西部の地震（深さ11km、M3.6）により、安来市・雲南市・奥出雲町で震度2を観測したほか、鳥取県、島根県、岡山県、広島県で震度1を観測しました。

17日19時38分 福岡県北西沖の地震（深さ16km、M4.3：地図範囲外）により、浜田市・益田市で震度1を観測しました。また、福岡県宗像市で震度3を観測したほか、中国・九州地方で震度2～1を観測しました。この地震は陸のプレートの地殻内で発生しました。

[断面图]

2023 02 01 00:00 -- 2023 02 28 24:00



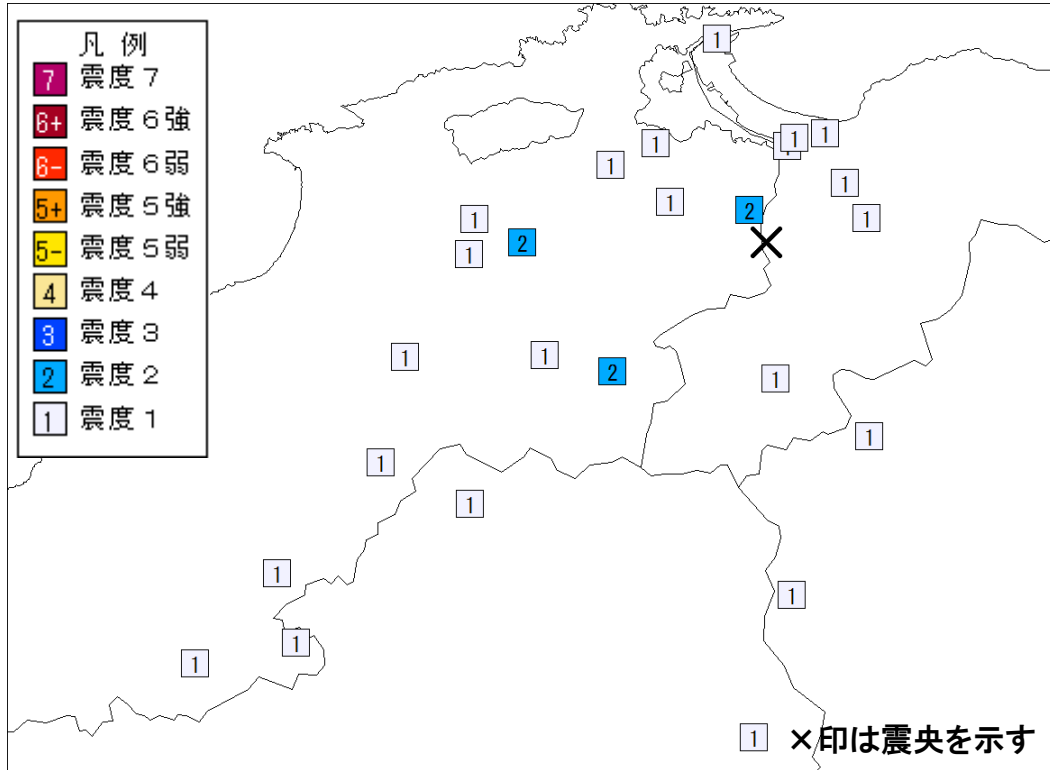
## 2月の島根県内の地震表（震度1以上）

発震日（年月日時分） 各地の震度（島根県内のみ掲載）	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード
2023年02月10日11時01分	鳥取県西部	35° 19.2' N	133° 18.0' E	11km	M3.6
----- 地点震度 -----					
島根県	震度 2：安来市伯太町東母里*，雲南市大東町大東，奥出雲町横田*				
	震度 1：松江市東出雲町揖屋*，松江市八雲町西岩坂*，安来市広瀬町広瀬祖父谷丁*， 雲南市掛合町掛合*，雲南市加茂町加茂中*，雲南市木次町里方*，飯南町頓原* 奥出雲町三成*，島根美郷町都賀本郷*，邑南町下口羽*，邑南町瑞穂支所*				
----- 地点震度 -----					
2023年02月17日19時38分	福岡県北西沖	34° 04.1' N	130° 24.7' E	16km	M4.3
----- 地点震度 -----					
島根県	震度 1：浜田市三隅町三隅*，益田市常盤町*				

・地点名の後に\*がついている地点は、地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

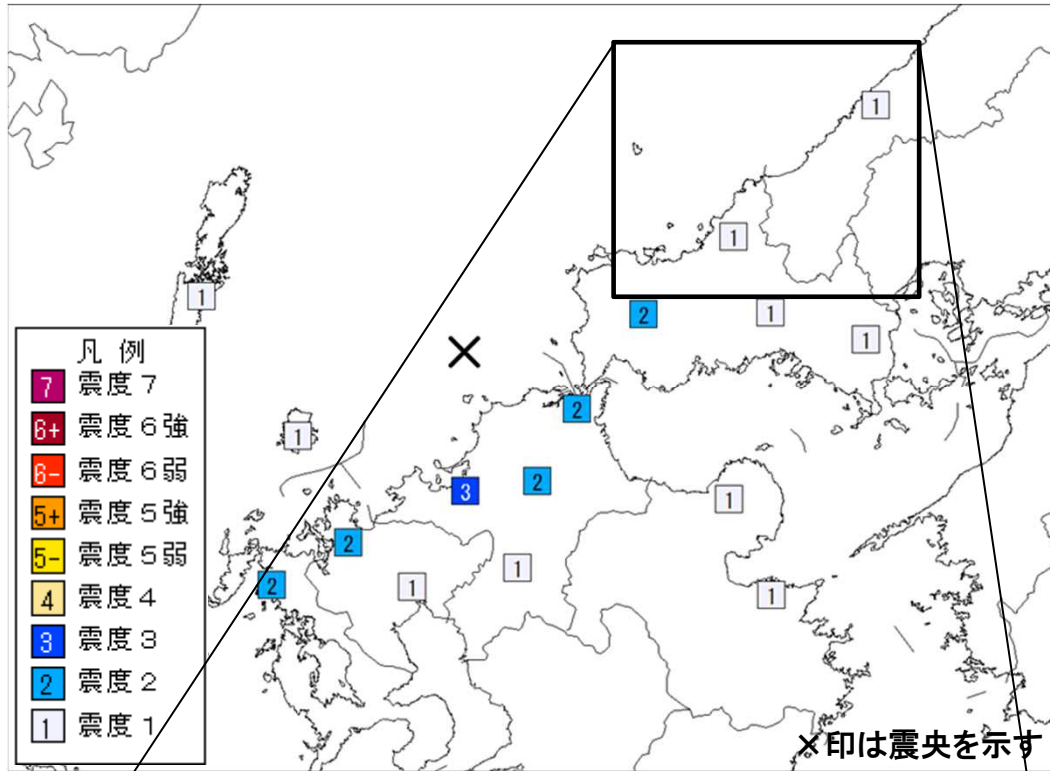
# 【観測点震度分布図】

2023年2月10日11時01分 鳥取県西部



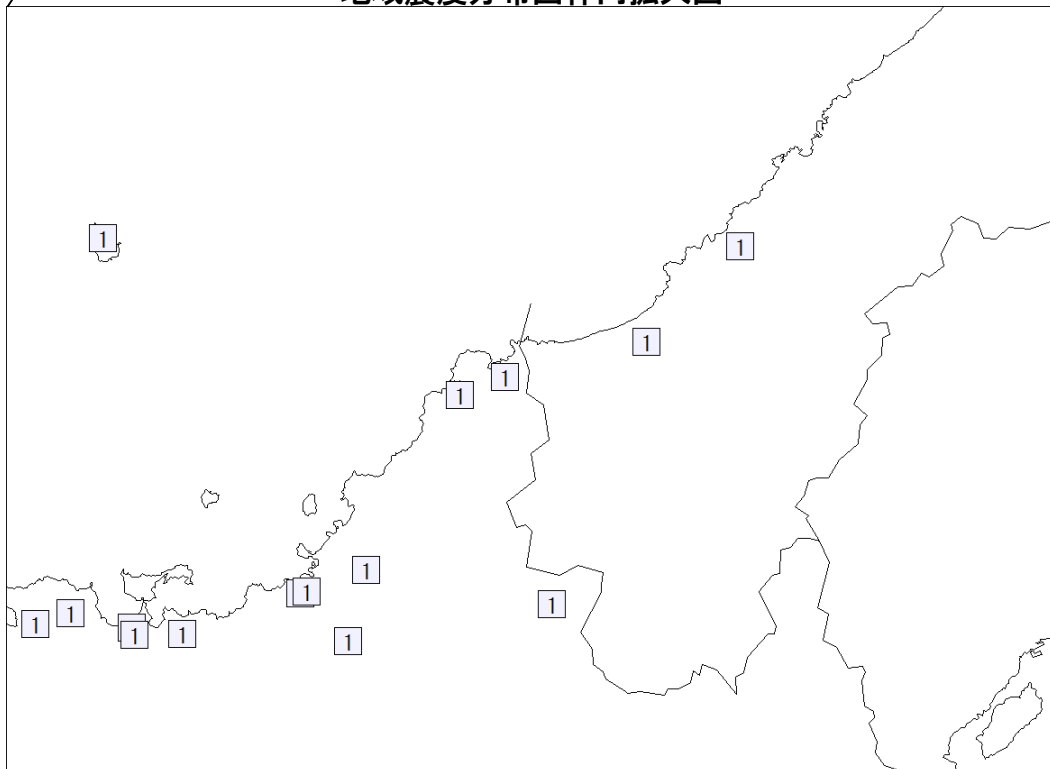
# 【地域震度分布図】

2023年2月17日19時38分 福岡県北西沖



# 【観測点震度分布図】

地域震度分布図枠内拡大図



# 地震一口メモ

## あの地震から 100 年、80 年

2023 年は、甚大な被害が発生した「関東大震災」から、100 年の節目の年です。

この地震（大正関東地震）は、1923 年（大正 12 年）9 月 1 日 11 時 58 分に発生しました。地震の規模マグニチュード（M）は 7.9 でした。

この地震により、関東地方では、震度 6 を観測しました。（当時の震度階級は震度 0 から震度 6 までの 7 階級でしたが、家屋の倒壊状況などから相模湾沿岸地域や房総半島南端では、現在の震度 7 相当の揺れであったと推定されています）

地震は昼食の時間と重なった事から、多くの火災により被害が拡大しました。津波、土砂災害なども発生し、この地震による災害は「関東大震災」と呼ばれています。



気象庁ホームページに「関東大震災から100年」特設サイトがあります  
[https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/1923\\_09\\_01\\_kantoujishin/index.html](https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/1923_09_01_kantoujishin/index.html)

内閣府ホームページにも特設サイトがあります。あわせてご覧ください  
<https://www.bousai.go.jp/kantou100/index.html>



**中国地方でも今年が節目の年となる被害が生じた地震があります。  
地震は、いつ発生するかわかりません。過去を知って備えましょう。**

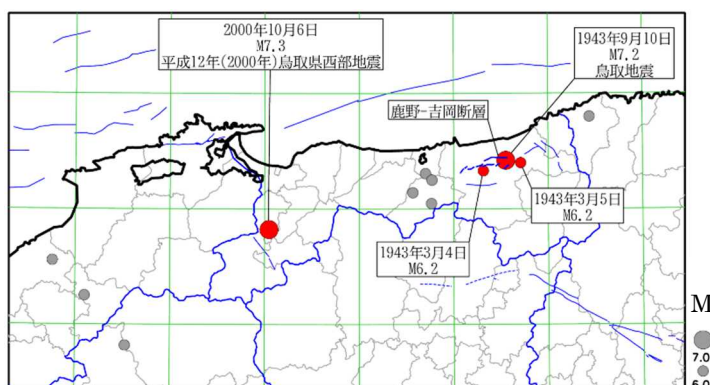
### あれから 80 年 鳥取地震（1943 年 9 月 10 日 M7.2）

鳥取地震は、鳥取市付近を震源域として発生した陸域の浅い地震です。「平成 28 年（2016 年）熊本地震」や「平成 12 年（2000 年）鳥取県西部地震」も同じタイプの地震です。

この地震は、「鹿野-吉岡断層」の活動に伴い発生し、鳥取市で震度 6 を観測しました。被害は軟弱な地盤が広がる鳥取平野に集中し、死者 1,083 人、負傷者 3,259 人、家屋全壊 7,485 棟などの被害が生じました（宇佐美ほか，2013）。

本震後数日間は、体に感じる余震が 1 日に 100 回以上発生しました。

この地震の半年前の 3 月 4 日、5 日に鳥取地震とほぼ、同じ場所で、いずれも M6.2 の地震が発生しています。



震央分布図 1919 年～2022 年  
図中の細線は、地震本部による活断層

※ 被害等は、地震本部：「中国・四国地方の地震活動の特徴」より

[https://www.jishin.go.jp/regional\\_seismicity/rs\\_chugoku-shikoku/](https://www.jishin.go.jp/regional_seismicity/rs_chugoku-shikoku/)